

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成22年 7月

(平成22年 6月末調査)

平成22年7月20日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【5月】	諏訪公共職業安定所管内	0.48倍	+0.13ポイント
手形交換高【6月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,963枚	△2,172枚
	金 額	9,120百万円	△2,901百万円
	うち不渡り	枚 数	△15枚
	発生状況	金 額	△13,518千円
電力使用量【6月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	40,751 MWh	+1.9%
	高压電力計	98,963 MWh	+9.1%
	合 計	139,714 MWh	+6.9%
車庫証明取扱件数【6月】(諏訪地方合計)		1,085件	+12.3%
新設住宅着工戸数【22年4月～5月】(諏訪管内)		150戸	△8.0%

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

### ●製造業

自動車部品関連の下請企業の受注は回復基調が続いているものの、コストダウン要請や10月以降のエコカー補助金終了の反動を危惧する企業が多い。工作機械・専用機では、アジア向けの需要により関連企業の受注は持ち直しつつあるが、大型機種動きは引き続き弱含みで推移している。ダイカスト関連の受注は、リーマン・ショック前の9割程度まで回復している企業が多いものの、アルミの値上がりから収益性の低下がみられる。デジタルカメラ関連の下請企業の受注状況は親会社により増減は区々である。

諏訪地域の製造業の受注状況は、回復傾向が続いており概ねリーマン・ショック前の8～9割程度まで戻しているものの、エコカー補助金やエコポイント制度などの政策効果の息切れ、円高及び株価の低迷、さらには中国の人民元相場の弾力化方針の行方などの懸念材料が出てきている。

### ●商業

5月までの御柱祭特需が終わり、食料品や酒類関係の動きは平年並みとなっているものの、一部商品ではその反動から売上高の前年割れがみられる。

衣料品では、子ども手当の支給により夏物衣料の動きが好調となり、衣料品全体の売り上げが久しぶりに前年を上回ったとする店舗がきかれる。また、宝飾品などの身の回り品の動きにも回復感がみられるとする声がきかれた。

また、エコカー補助金の適用期限を前に駆け込み需要から6月の諏訪地方の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,085台と前年同月比+119台(+12.3%)と5ヶ月振りに二桁の増加となった。

## ●観光業

例年6月は、梅雨や5月の大型連休と7月下旬からの夏休みの狭間で低調な時期であるが、諏訪大社の6月の参拝者数が前年同月に比べ+55.3%増加するなど、御柱祭の効果から入り込み客は比較的堅調であった。ただし、日帰りの観光客の比率が高く、地域のホテル旅館の宿泊者数は前年を下回ったところが多い。

上諏訪温泉の宿泊者数は、老人会や修学旅行等の団体客が堅調に推移し総体での宿泊者数は前年並みを維持している。高原の観光地のホテル旅館の宿泊者数は、施設により前年並みから前年同月比△30%程度まで区々となっている。

各ホテル旅館では、「子ども手当特別企画」や「諏訪湖の花火大会」、10月からの「ズーラ」や「信州デスティネーションキャンペーン」に向けて営業を強化している。

## ●建設業

市町村の6月の発注工事は、建築工事12件773百万円、土木工事・下水道工事64件426百万円、その他工事18件166百万円の合計94件1,366百万円で、前年同月比では件数は△23件減少したものの、契約金額は+417百万円の増加となった。県関係の6月の公共工事(地元業者受注分)は19件272百万円で、平成22年4月～6月の累計契約は26件360百万円と前年同期累計比では件数は+6件増加、契約金額も+5百万円の増加となった。

民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数は54戸で前年同月比△30戸(△35.7%)の減少となっている。

## ●雇用

諏訪地域の5月の有効求人倍率は、前年同月を+0.13ポイント上回り0.48倍と前年同月を2ヶ月連続で上回っているが依然として低水準で推移している。なお、前年の5月の同倍率は0.35倍とリーマン・ショック後の最低値であった。また、全国の同倍率は0.50倍、長野県の同倍率は0.57倍となっている。

諏訪地域の5月の新規求人(全数)は1,059人で前年同月比+374人(+54.6%)の増加、新規求職者数は1,152人で前年同月比+106人(+10.1%)の増加となっている。産業別の前年同月比の新規求人数では、ほとんどの産業が増加しており、特に製造業は+243.2%増加、医療・福祉業は+145.0%増加となっている。また、求人の要因別状況は、「業務量増大」が46.7%を占めている。

なお、5月の1件10人以上の人員整理は1件26人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は75人で前年同月より△91人減少、前月より△105人減少した。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	前年同月比の受注は大幅に回復しており、省エネ家電向け等でさらなる受注の増加が見込まれている。
コンデンサー	受注は弱含みで推移している。
プリンター	引き続きアジア向けサーマルプリンターの受注は好調であり、インクジェットプリンター関連も堅調に推移している。
コンタクター・リレー	受注は安定している。

### 2. 輸送用機械

自動車	受注の回復基調は続いているが、コストダウン要請や10月以降のエコカー補助金終了の反動を危惧する企業が多い。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は回復傾向である。
船外機	新興国向け機種受注は活発である。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	アジア向けの需要により関連企業の受注は持ち直しつつある。
搬送用機械	新興国向けの機種で受注残は増加している。
金型	新規受注は減少している。
ダイカスト	受注はリーマン・ショック前の9割程度まで回復している企業が多いものの、アルミの値上がりから収益性の低下がみられる。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの5月の生産台数は1,013万台で前月比△11.0%減少、前年同月比+31.6%増加となっている。5月の出荷台数は国内出荷70万台、海外出荷920万台で、出荷台数全体では前月比△9.2%減少、前年同月比+23.1%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 地域の下請企業の受注状況は、親会社により増減は区々である。また、コストダウン要請から収益力が低下しているとの声もきかれる。
プロジェクター	海外生産が主体であるが、メーカーの販売状況は米国向けが好調であり新興国向けも増加してきている。
レンズ	足元の受注は比較的堅調に推移している。監視カメラ向けのレンズユニット等では、上海万博の特需が終わり受注は減少している。

## 5. 織 維

ニット

初秋ニットの生産時期となっており、サンプル生産が活発化している。

## 6. 食 品

寒天

荷動きは安定している。引き続き、観光施設や個人向けの売り上げの増加がきかれる。

味噌

需要の減少期となっている。

## 7. 製 材

諏訪地方の5月の木造住宅着工戸数は47戸で、前年同月に比べ△23戸減少と御柱祭が終了したものの引き続き弱含みの状況で推移している。

## 8. 建 設

公共工事

6月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所5件、施設課関係工事2件、林道治山工事関係2件、農地整備課7件、その他土木工事3件の合計19件、契約金額272百万円となっている。平成22年4月～6月の累計契約は26件360百万円と前年同期累計比では件数は+6件増加、契約金額も+5百万円の増加となった。

市町村の6月の発注工事は、建築工事12件773百万円、土木工事・下水道工事64件426百万円、その他工事18件166百万円の合計94件1,366百万円で、前年同月比では件数は△23件減少したものの、契約金額は+417百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数は54戸で前年同月比では△30戸（△35.7%）の減少となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は△14戸減少の49戸、「貸家」は△6戸減少の4戸、「分譲」は△10戸減少の1戸となっている。

また、長野県全体の5月の新設住宅着工戸数は895戸で、前年同月比+5.0%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が596戸で+16.9%増加、「貸家」が233戸で△14.7%減少、「分譲」が63戸で+5.0%増加となっている。

## 9. 商 業

諏訪地方の6月の天候は、14日ごろ梅雨入りし曇りや雨の日が多くなった。

5月までの御柱祭特需が終わり、食料品や酒類関係の動きは平年並みとなっているものの、一部商品ではその反動から売上高の前年割れがみられる。

衣料品では、子ども手当での支給により夏物衣料の動きが好調となり、衣料品全体の売り上げが久しぶりに前年を上回ったとする店舗がきかれる。また、宝飾品などの身の回り品の動きにも回復感がみられるとする声がきかれた。

衣料	子ども手当の支給により夏物衣料に動きがみられ、衣料品全体の売上高が久しぶりに前年を上回ったとする店舗がきかれる。
食料品	前月までの御柱祭需要が終わり、平年並みの売り上げ状況に戻っている。引き続き価格競争は激しく、店舗の競合状況等から前年比の売上高は店舗により増減が区々となっている。
家電製品	薄型TVの動きは、前年に比べると幾分弱含みとなっている。
自動車	諏訪地方の6月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,085台で前年同月比+119台（+12.3%）と5ヶ月振りに二桁の増加となった。エコカー補助金の適用期限を前に駆け込み需要がきかれる。
ホームセンター	生活関連商品の動きは比較的堅調であるも、低価格志向がみられる。

## 10. 観 光

例年6月は、梅雨や5月の大型連休と7月下旬からの夏休みの狭間で低調な時期であるが、諏訪大社の6月の参拝者数が前年同月に比べ+55.3%増加するなど、御柱祭の効果から入り込み客は比較的堅調であった。ただし、日帰りの観光客の比率が高く、地域のホテル旅館の宿泊者数は前年を下回ったところが多い。

各ホテル旅館では、「子ども手当特別企画」や「諏訪湖の花火大会」、10月からの「ズーラ」や「信州 destinations キャンペーン」に向けて営業を強化している。

上諏訪温泉	家族や小グループの個人客は比較的堅調であり、老人会や修学旅行等の団体客の取り込みもみられたことから、ホテル旅館により区々であるものの総体での宿泊者数は前年並みを維持している。
蓼科・白樺湖・車山	入り込み客数は弱含みで推移しており、ホテル旅館の宿泊者数は前年並みから前年同月比△30%程度まで施設により区々となっている。
下諏訪温泉	観光施設への入り込みは修学旅行等の団体客が増加したものの、ホテル旅館の宿泊者数は前年より減少している。引き続き、宴会客の減少がみられる。
諏訪大社	上社・下社合わせた6月の参拝者数は約63千人で、団体客の増加から前年同月比約+22千人の大幅な増加となった。